

# 令和3年度 学校評価(自己評価) 報告書

明德やちまたこども園

## 1 本園の教育理念・目標・方針

### ○ 教育理念

千葉明德学園の建学の精神は「明德を天下に明らかにせんとする者は、先ず其の知を致せ」である。これは中国の古典「大学」からの出典である。

明德とは、人が天から得た生まれながらに持つ優れた能力、人間として生まれながらにして持っている人間性を言い、「明德を明らかにする」とはそれを輝かせることである。その為にはまず、幼児期には健康な身体とその年齢らしい心の育ち、そして他者との対話力、直接体験を通じた知識と知恵を身につけ、徳と知、善悪の判断ができる人間性を育てていくことと考えている。

### ○ 教育目標

自他を尊重し、五感を働かせて自らの生活を切り拓いていこうとする子

### ○ 具体的な目標

- ・元気な子 (身体を使った遊びを楽しむ)
- (自分の思いを表現する)
- ・思いやりのある子 (友達と思い切り遊ぶ子)
- (約束を守って遊ぶ)
- ・工夫する子 (新しいことに挑戦する子)
- (遊びを楽しく工夫する子)

### ○ 教育方針・特色

・自然の中で、五感（見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる）を働かせ、直接体験を通して友達と関わって遊ぶ。

・物を作る楽しさや、工夫する面白さを感じながら活動に取り組む。

・様々なことに出会い、心を動かし豊かな感性を育み、自分の気持ちだけでなく相手の気持ちを汲み取ることが出来る。

・思いきり体を動かすことを通して挑戦し、最後までやり遂げようとする気持ちを育む。

## 2 本年度のねらい

・幼稚園と保育園の持つ、其々の機能や長所を生かして、子どもの園生活がより豊かになるようにする。

・子ども一人ひとりの善さをしっかりと見つめ、それぞれの年齢らしい課題について時期を逃さないように援助していく。

・子どもたちの生活空間をより良い環境にしていく。

### 3 総合評価

NO	評価項目	評価のまとめ
1	教育目標・教育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のほとんどは教育方針をしっかりと理解しているが、まだはっきりととらえられていない者もいる。これからも幼児打ち合わせ、乳児打ち合わせの中で話し合いながら共通理解に努めていきたい。</li> </ul>
2	教育課程・指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の構成についてどの職員も心を砕いている。日々の実践の中で子どもの姿を見つめ、より良い教育課程や指導計画作成の為、真摯に取り組んでいるが十分な時間の確保が難しい。</li> </ul>
3	保育の内容・対処法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの思いに寄り添い、子ども自身が考え工夫したり出来るよう、適切な環境構成や言葉掛けを行っている。</li> <li>・保育中の事故などが起きないように環境を整備するとともに、起きたときの事例を情報として職員間で共有できるようにしている。</li> <li>子どもの個々の発達についてクラス担任間だけでなく、職員間で共通理解できるように昼礼などを活用しているが時間が足りていない。</li> </ul>
4	保育者としての資質、保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員それぞれが、組織の一員としての自覚を持ち、日々良い保育をしようと心掛けている。</li> <li>自覚はあるが、これから先も子ども一人ひとりへの心や体、知の成長などについてしっかりと向き合うとともに、そのエビデンスについて実践の中や最新の文献の中から学んでいく必要がある。</li> </ul>
5	研修・研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修や、保育協議会の研修など、各職員の自己課題や園務分掌などを踏まえて外部の研修に可能な限りの人数を参加させることを考え、職員の体制を整えるようにしてきた。</li> <li>・年々配慮の必要な子どもが増え、そのケースも多岐にわたるため研修会に参加できるよう配慮したが、研修を受けたものからの伝達について工夫が必要であった。</li> <li>・千葉明德短期大学とのコラボレーションで実践を通して研修を行っているが、研修を研究につなげていきたい。</li> </ul>
6	運営管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策については看護師をリーダーとして、園として考えられる限りの対応をしてきている。(毎日健康カードに体温、体調などを記入する。外部の訪問者、園児、保護者にアルコール消毒液を用意する。自動検温機の設置。印刷物などで家庭に注意喚起を促す。職員間の情報共有を行う。)</li> <li>・園務分掌の遂行については各自が自覚をもって行っているが、勤務形態がシフト制であるため業務内容によっては、職員全体に声掛けをして作業をしていくのが難しいこともある。</li> <li>・施設設備の点検については学年会などで密に話し合い、改善に努めている。</li> </ul>

7	保護者との連携 地域との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不定期ではあるが、ホームページで「園日記」として、コメントをつけた子ども達のスナップ写真を掲載し、子ども達の日常生活の一端を知らせている。また子ども達のタイムカード横に各クラスごとの掲示板を用意して、その日のエピソードを必ず入れてお知らせなどを記入、時にはスナップ写真も入れて、園の保育の姿勢を伝えている。</li> <li>・四季折々、近隣の農家の方から農産物の提供があったり、七夕の竹を頂いたり、人参抜き、大根掘り等の自然体験をさせてもらっている。</li> <li>・子育て支援センターでも、園児と利用者で自然に地域交流が行われている。</li> </ul>
---	--------------------	--

#### 4 今後取り組むべき課題

NO	課題項目	課題の内容
1	運営管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の教育方針を保護者に色々な角度で知らせていきたいが、その一環としてのホームページ掲載の「園日記」は開園以来、約 30 万回閲覧され好評であるが、保護者からはもっと数多く掲載して欲しいとの要望がある。工夫して掲載を多くしたいと考えている。</li> <li>・施設設備の安全環境の充実を考え、出来るだけ万全にしていくよう取り組んでいきたい。</li> <li>・感染対策について引き続き万全を目指して行っていく。また新たな対策方法を取りこぼさないように対応していきたい。</li> </ul>
2	教職員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修の充実を図り、一人ひとりが自己課題をもって実践に取り組んでいくように時間や場の確保に努める。</li> <li>・特に乳児の脳科学などの研究が進み、新しい知見が次々と発表されている。これらについての情報をキャッチし現場にフィードバックしていく。</li> </ul>